

町長の行政報告（抜粋）

■東日本大震災からの早急な復旧・復興

●除染対策事業

・仮置き場からの除去土壌等の中間貯蔵施設への輸送について、7月末に藤田方部1号仮置き場からの全量搬出が完了した。

●平成30年産米の全量全袋検査

・県産米の信頼性の回復と食の安全・安心の確保のため今年度も9月25日から取り組む。

■安全安心な町政の実現

●台風13号・局地的大雨への対応

・8月8日、9日に接近した台風13号については、接近前から対策本部を設置し、関係機関との緊密な情報連絡体制で備えるとともに、町内3箇所に自主避難者のため避難所を設置した。

・8月10日の局地的大雨については、大雨警報発表後、警戒本部を設置し対応した。翌朝より被害調査を実施し、所要の復旧経費について直ちに専決処分を行った。

●総合防災訓練

・9月9日に町内6地区で、それぞれ安否確認など各種訓練を実施した。

■活力ある町政の実現

●道の駅国見あつかしの郷

・7月21日からサマーフェスタを行い、モモの特設販売コーナーやビアホールを設置したほか、花市の開催を行った。また、夏のくにみご案内ウィークには、道路情報コーナーに案内ブースの開設や周遊ツアーを実施した。9月2日には、来場者が250万人を達成した。

●義経まつり

・9月23日に行われ、義経役に若手俳優の飯島寛騎さんを起用。静御前役は昨年に引き続き公募とし、県内外から多くの応募をいただいた。また、道の駅国見あつかしの郷においてもステージイベントを行った。

●地方創生・シティプロモーション事業

・道の駅国見あつかしの郷への集客やリピーターの確保のため、ミススピーチと共に仙台市役所などを訪問したほか、藤崎デパート前でモモのトップセールスを行った。今後も仙台圏へのアプローチを強化し、集客に努めたい。

■思いやりのある町政の実現

●子育て支援事業

・屋内遊び場「くにみもたん広場」では、9月1日に5周年の記念セレモニーを行った。今後も、道の駅の木育広場「つながる～む」と屋内遊び場「くにみもたん広場」との連携による子育て支援を継続していきたい。

●介護予防のための日常生活支援総合事業

・「ささえ愛カフェ」を開催し、多くの方々に「高齢者の居場所・地域の居場所」づくりの大切さをアピールできたと考える。

■町の継続的な維持発展

●歴史を生かしたまちづくり

・あつかし歴史館では、8月11日に「大木戸歴史むらづくりの会」と共催で「七夕まつり」を開催し、各種の催しと様々なワークショップを実施した。

●くにみ農業ビジネス訓練所事業

・短期研修及び体験研修を計画に基づき開催している。さらに、長期研修生の確保に向け、県やJAふくしま未来などと連携し、新規就農相談窓口の開設に参加するなど、訓練所のPRに努めている。

●学校教育

・7月23日、24日に行われた中体連福島県大会では、ソフトテニス女子団体が第3位と健闘した。

・8月29日の伊達地区中学校英語弁論大会では、暗唱の部、創作の部、スキットの部全ての部門で第1位を獲得する快挙を成し遂げた。

●国見ジュニア応援団

・7月には岩手県平泉町を訪問し、義経まつりでは、平泉町の子どもたちが国見町を訪れ交流を行った。10月には岐阜県池田町を訪問し、交流と情報発信を行った。

●文化事業

・7月14日から2日間、ベーゼンドルファーの試弾会を開催したほか、7月28日には道の駅で、世界の食文化と文化芸術事業を組み合わせ「世界の料理講座 フランス料理編」を開催し、大変好評を得た。

●町民の皆様との懇談会・町長と対話の日事業

・町民の皆様との懇談会について、7月に福祉関係者の方々を対象に実施したほか、8月25日に、くにみの日プレ事業として、「町長と対話の日」を実施し、多くの町民の方々と意見交換を行った。



岐阜県池田町を訪問し交流活動を行いました
(国見ジュニア応援団と池田町ジュニアリーダーズクラブのみなさん)

みなさんからの 陳情

9月定例会では陳情3件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
学校給食費の無料化を求める陳情	新日本婦人の会伊達支部 支部長 堀江 ミヨ子	不採択 (採択に賛成1、 採択に反対4)
県に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての陳情	新日本婦人の会伊達支部 支部長 堀江 ミヨ子	不採択 (採択に賛成1、 採択に反対4)
国に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての陳情	新日本婦人の会伊達支部 支部長 堀江 ミヨ子	不採択 (採択に賛成1、 採択に反対4)

※本会議で、次のような討論がありましたが、採決の結果、不採択となりました。

採択に賛成

浅野 富男 議員

学校給食は健康な食生活を保障するため進められてきており、根拠は義務教育の視点である。義務教育を無償とすることは教育基本法でも定められていることから、給食費についても無償とすべきであり、採択と考える。

採択に反対

松浦 和子 議員

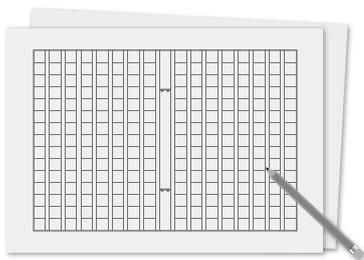
町では給食の費用を半額負担している。国は、今後消費税の増税分により、幼児教育の無償化など手厚い支援を行う予定である。このような状況を踏まえ、衣食住は自助努力により行うべきであり、不採択と考える。

※議長は採決に参加しない。

「私もひと言」原稿を募集

議会だよりにみなさんからの意見や要望、議会を傍聴した感想などを掲載します。

日頃から思っていること何でも結構です。字数は600字(400字詰め原稿用紙1枚半)程度です。どしどしお寄せください。



広報常任委員長 松浦和子
(事務局TEL 585-3295)

議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は 12月4日開催予定です

●手続きは簡単です！

受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。

●議案資料を準備します！

議案審議がわかりやすくなるよう、傍聴者には議案資料を提供します。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせください。
TEL 585-3295 (直通)

